

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2単位	学年	1学年
使用教科書	教育芸術社 『MOUSA 1』						
副教材等	高校生のための新・楽典ワーク (ドレミ楽譜出版社)						

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- 感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。
- 自己のイメージを持ち、創造的な表現をするための技能を身につける。
- 多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わう。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
創意工夫を生かした音楽表現にするために必要な歌唱、器楽、創作の知識・技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を思考・判断し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組んでいる。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	表現方法を創意工夫し、主題を迫及して創造的に表している。	表現や鑑賞を通して心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	見方や感じ方を深め、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、①歌唱テスト ②グループ発表 ③課題作品の提出 ④授業態度 などから総合的に評価します。		

5 課題・提出物等

- ・課題に積極的に取り組む。
- ・授業内での課題の取り組みを記録する。
- ・鑑賞の記録を提出する。

6 学習アドバイス

- ・演奏の授業では、歌唱、器楽などの曲に積極的にチャレンジしてください。
- ・鑑賞した楽曲や演奏に対する自分なりの考えを持てるようにしましょう。

(担当 川上 翔子)

7 学習計画

月	単元名	授業時 数 と領域	教材名	学習活動 (指導内容)	評価 の 観点	評価方法
4 5 6	・独唱曲、合唱曲に親しみ、そのよさを味わおう ・楽譜の読み方、書き方	30	・独唱曲、合唱曲に親しみ、そのよさを味わおう ・楽譜の読み方、書き方	・楽曲に興味を持ち、積極的に活動する。 ・楽曲に応じて、のびのびと表現する。 ・楽譜の正しい読み方や書き方を身に付ける。	a b c	歌唱テスト、課題、発表、レポート等の確認
7 8 9	・リコーダーを楽しみながら、アンサンブルをしよう		・リコーダーを楽しみながら、アンサンブルをしよう	・ハーモニーのおもしろさを感じ取って表現する。 ・自分のパート以外の旋律を意識しながら表現する。	a b c	課題、発表、レポート等の確認
10 11	・クラシック音楽を味わう ・ギター演奏	24	・クラシック音楽を味わう ・ギター演奏	・曲の背景や様式などを理解し、そのよさを味わう。 ・楽器の特性・効果の特徴を理解する。 ・コードネームを覚える。	a b c	課題、発表、レポート等の確認
12 1	・グループで音楽作り、みんなで音楽作り ・ミュージカルの鑑賞		・グループで音楽作り、みんなで音楽作り ・ミュージカルの鑑賞	・自分たちの好む音楽表現に意欲的に取り組む。 ・楽曲にふさわしい表現を積極的に努力し発表する。 ・ミュージカルを鑑賞し、背景や様式を理解しよさを味わう。	a b c	課題、発表、レポート等の確認
2 3	1年間のまとめ	10	1年間のまとめ	・歌唱、演奏、鑑賞に積極的に取り組めたかを確認する。	a b c	歌唱テスト、課題、発表、レポート等の確認

64時間 (55分授業)